

保育型発達支援といろくっセンター南教室
令和2年度 事業所自己評価結果の公表

公表: 令和3年3月31日
アンケート期間: 令和3年3月1日～令和3年3月25日

保護者等からの事業所評価の集計結果

保護者等数(児童数)13名

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースは十分に確保されていますか。	9	3		1
	2 職員の配置数や専門性は適切ですか。	12	1		1
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか。	8	4		1
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	13			

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

回答職員数 6名

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・子どものその時の状態に合わせて適宜、環境を変えている。 ・個別や少人数で対応できるスペースがある。必要に応じて環境設定を変えている。	・建物の構造上、トイレ入り口にある段差はバリアフリーではないが、必要に応じてスタッフが補助する等対応しており、現状問題はない。
	2 職員の配置数は適切である	6		・バーテーションや家具を使用して空間を分けたりなどしています。	・棚の上に不必要なものが多いので、収納できる場所など作ってきたいです。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・活動の内容によって子どもたちが活動に集中できるように、グループを分けたり場所や内容を変えたりしています。 ・視覚提示を意識して子どもたちが活動に注目しやすく、理解しやすいように工夫しています。	・もっと、スタッフ同士の連携が必要だと思います。目的や意識に、共通認識が持てるように、私自身も、的確に伝えたり、説明できるように意識したいです。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・余計なものがなく、迷わない動線作りとなっていると感じる。	・トイレ周りに、座って着脱できるスペースがあると良いように思う。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		・日誌を通じて日々事前に全ての職員が確認し事後の振り返り情報を共有している。また、月次の職員会議を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・それぞれのスタッフが研修に参加したら、内容を共有したりペアレントトレーニング等の研修をしている。	・専門性を深める為に外部講習などを利用する。 ・より研修を増やしていけるよう工夫する。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・子どもたち1人ひとりの、支援方法、最近の様子を会議で話合っています。	・スタッフ同士の情報交換や連携をもっと行なってきたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・ペアレント研修を事業所内研修で行って、意識して子どもたちへの言葉かけを実践できるように意識しています。 ・会議の場や社内アプリで伝え合う時間を設けている。	・日々の業務の中ではなかなか時間が取れないが、少しの間でも話し合える良いと思う。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか。	13			
	6 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	12			1
	7 個別支援計画に沿った支援が行われていますか。	13			
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか。	13			
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか。	4	3	3	3

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	6			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11 個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・保護者の方の声を大切に、支援に繋げている。 ・勤務終了までその日の様子など非常勤の先生からも聞き取りをして、日誌の振り返りに記載している。	・保育所などとの連携。
	12 個別支援計画に沿った支援が行われている	6			
	13 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・支援計画を作成する際にアセスメント表を使ってチェックしたり、そのための支援計画になっているか、観望さんの意向を優先していないかを、考えて意識しています。	・現在のプログラムはほぼ常勤職員主導で行っている。会議等で非常勤スタッフからもプログラムの内容等のアイデアを募りより幅広い視点で活動を検討できるようにしていきたい。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・朝、口頭での打ち合わせの時間が取れる時、とれない時があるのでも意識して伝えたり、連携がとれるようにしていきたいです。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6		・活動後は、振り返りや反省、改善するところを話して、次に活かせるように話合っています。	・日々の話し合いの時間がもう少しあると良いと思う。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・振り返りでの職員間での共有。	
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			
	18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	19 定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2		
	22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・日々のフィードバックと連絡帳。 ・毎月子どもの様子の写真をまとめてアプリから保護者に見てもらえるようにしたこと、どのように過ごしているかがわかりやすくなったと思う。	・保育園児や幼稚園児と関わる機会がなかなか持たない。
	23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4		
	24 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	・個別支援計画の評価の用紙を細かく記載することで、そのまま幼稚園、保育園等に持っていったらできるようになっている。	・関係機関がどんな所があるのか、自分はもう少し知る必要があると思います。
	25 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している	1	5		
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	2	・関係機関との連携は、自分は把握していないので、いいえとしましたが、保護者との連携は、日々の登園降園時や面談などで、密にしていると感じています。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	13			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	11			2
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	13			
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等、保護者同士の連携が支援されていますか。	5	5	3	
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			1
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか。	12	1		
	17 定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果等を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されていますか。	13			

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
非常時等の対応	19 防犯対策、感染症予防、非常災害時対応方法について、保護者に周知・説明されていますか。	9	4		
	20 新型コロナウイルス感染症対策は徹底されていましたか。また、緊急事態宣言発令時の対応について等、不安はありませんでしたか。	12	1		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	8			5

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1		1
	23 事業所の支援に満足していますか。	13			

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・契約等は時間をかけて説明するようにしている。 ・個別支援計画では細かくできたことやこれからの支援方針などお話しして、保護者の方に納得していただいていた同意を得るようにしている。 ・主に常勤の先生方に頼りきりではありますが、保護者に寄り添っていると感じています。
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6			
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	33 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		
	34 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	35 定期的におたよりやホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	37 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待等防止に関しては研修の機会が取れていないためしっかり検討していく。 ・感染症マニュアル、嘔吐処理方法 ・常に念頭においておけるよう、こまめに話し合えると良いと思う。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	41 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、新しい生活様式に対応した活動内容・支援方法について日々工夫しながら取り組んでいる	6		・毎日の日誌にヒヤリハットを入れたことで、毎日お互いに確認し取り入る癖がついてきた。	
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・避難訓練を通して、職員間で共通理解を得ている。	
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			
45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1			

事業所における分析・協議・改善案の検討結果

事業所内での分析	
【保護者様評価・職員自己評価の共通点】	・地域の方や幼稚園や保育園と交流する機会がない。 ・父母会など保護者同士が交流する機会がない。
【保護者様評価・職員自己評価の相違点】	・非常時の対応についてなど

分析・検討してみても…	
事業所の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からも支援についての評価は高いこと ・預かりの時間が長く、親子分離の良さを生かして生活習慣等へのアプローチできている。 ・プログラムが固定されず、子どもに合わせて色々な経験ができています。 ・子どもが楽しんで通園していると思う
事業所の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加や父母会ができるよう、コロナウィルスの感染等ないように配慮しながら行いたい。 ・ペアレントトレーニングのインストラクターの資格を習得したので、保護者に対して提供できればと思う。 ・近隣の保育園や幼稚園等との交流ができるようにしたい。

事業所の改善への取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加や保護者会はコロナウィルスなどの感染症を考慮して、リモートで開催する等していく。 ・近隣の保育園や幼稚園等と繋がれるように、ホームページ等に交流ができる園の募集をするなどしたい。 ・ペアレントトレーニングのプログラムを保護者に提供したい。 ・地域ケアプラザ等のイベントが開催していれば参加等検討する。 ・嘔吐処理グッズを準備したい。 	<p>～自己評価を行なった事業所としての感想など～</p> <p>自己評価をしてみて改めて、保護者から支援に対する満足感の高さを知れてよかった。今後も子どもたちが楽しく、成長できるように支援していきたい。また地域の交流や保育園や幼稚園との交流の部分がまだ行っていないので少しずつパイプを増やしていきたいと感じた。 (管理者 小幡 恵美)</p>